

めいとくやま



鳥取市立明德小学校

E-mail meitoku-e@mailk.torikyo.ed.jp

TEL 23-5661 FAX 23-5662

<https://www.torikyo.ed.jp/meitoku-e/>

令和3年度 12月学校評価アンケート 結果報告

今回は初めてタブレット端末を活用して実施しました。12月に実施した第2回学校評価アンケート（児童・保護者）の集計結果を報告します。ご協力いただき、ありがとうございました。結果を今後の教育活動の改善に生かしていきたいと考えています。

(1) 児童アンケート

学校教育に対して、肯定的な回答がすべて85%以上であり、本年度の指導の成果が表れてきています。7月と12月の結果を比較しても22項目中15項目が改善し、下がった項目でも-3ポイント（3名）以下に留まりました。

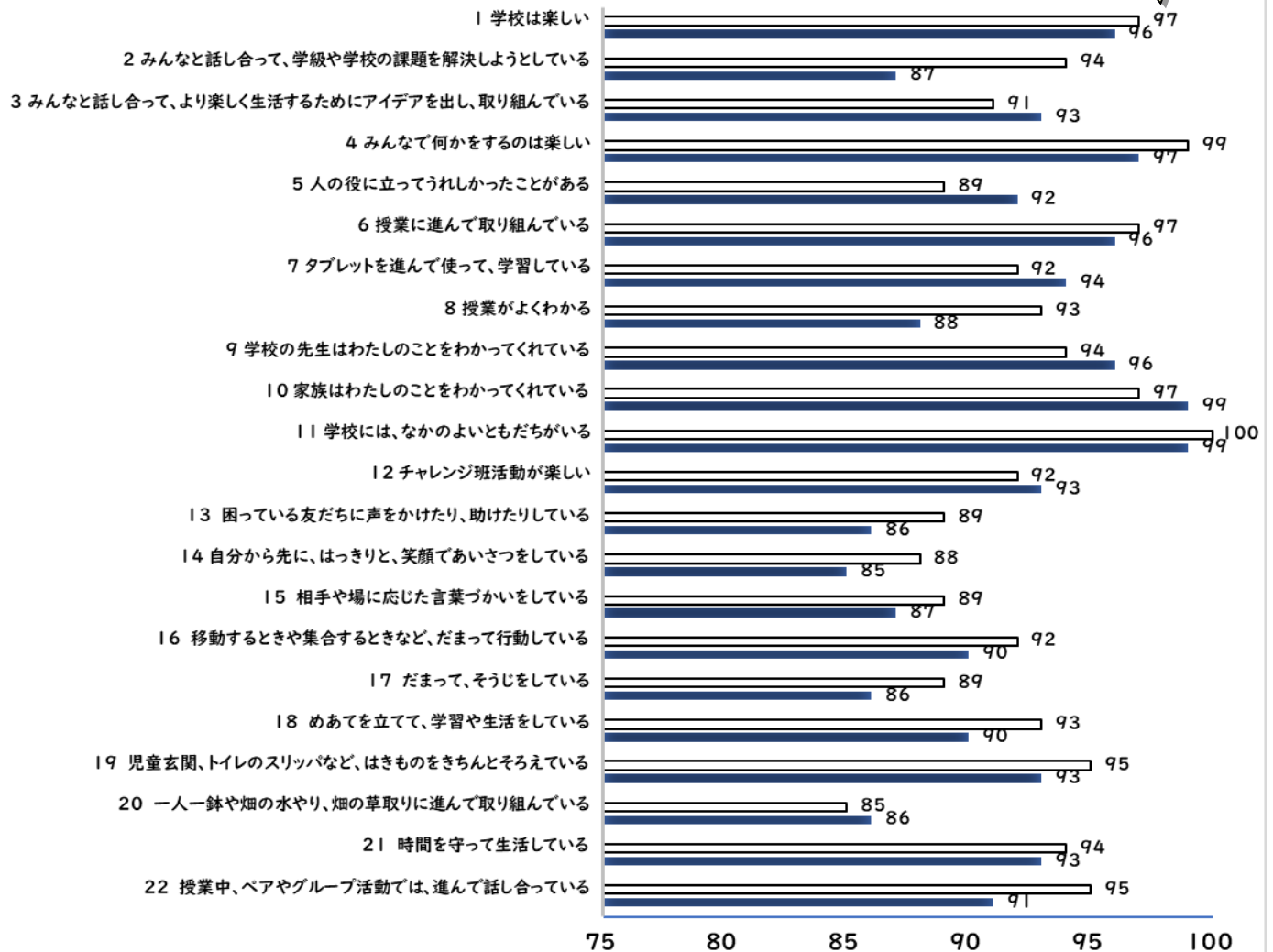
質問2では、+7ポイントであり、学校行事や学級活動などを通して、子ども同士の話し合い活動が活発だった成果だと思われます。今後も児童主体の学習活動、特別活動が展開していきたいです。質問8では、+5ポイントであり、これまでの授業改善の取組の成果が表れました。より一層の工夫改善に努めたいです。

令和3年度 学校教育評価（全校児童）

数値は%です。

□ 肯定的評価 R3 12月

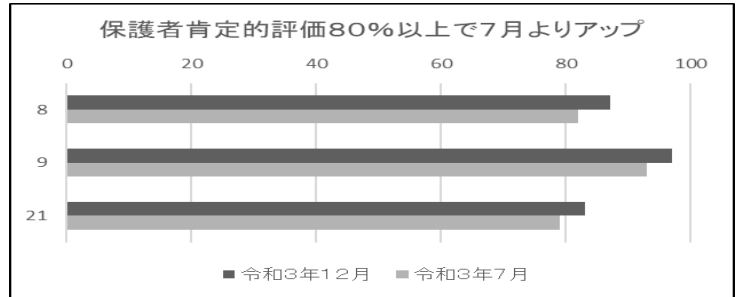
■ 肯定的評価 R3 7月



(2) 保護者アンケート

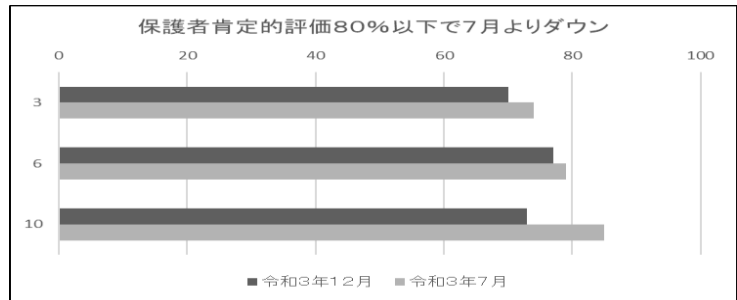
肯定的な回答80%を上回った項目は22項目中17項目でした。学校教育に対して、概ね肯定的にとらえておられることがわかりました。その中でも、7月よりもポイントが高くなった主な項目は次の通りです。

- 〔8〕子どもは、学習した内容を理解している。
- 〔9〕子どもは明るく思いやりのある心が育ってきている。
- 〔21〕保護者は、子どもの教育上困ったことがあれば、学校に連絡・相談するようにしている。



肯定的な回答80%を下回った項目は22項目中5項目でした。7月よりポイントが下がったのは次の3項目です。

- 〔3〕子どもは、自分から先に、はっきりと、笑顔であいさつをしている
- 〔6〕子どもは、困ったことやわからないことがあるときは、先生に相談している。
- 〔10〕子どもは、家族の一員としてお手伝いをしたり協力したりしている。



【対応策】

- ・〔3〕子どもは、自分から先に、はっきりと、笑顔であいさつをしている（12月70%：7月74%）
気持ちのよい挨拶については、児童（88%）と保護者の捉えがかなり違います。朝の玄関前の挨拶だけでなく、いつでもどこでも自分から気持ちのよい挨拶をする習慣を身に付けさせたいと考えます。出会った人に大人が挨拶を交わす姿を見せ、子どもが挨拶を通して心が通い合う心地よさを感じられるようにしていきたいものです。
- ・〔6〕子どもは、困ったことやわからないことがあるときは先生に相談している（12月77%：7月79%）
学習や生活の様子から児童の些細な変化を捉え、声をかけたり、児童のよさやがんばりに目を向け、褒めたりして、児童との信頼関係づくりにさらに努めていきます。毎月の「友達アンケート」や面談週間だけでなく、日頃から児童と教職員が困り感を話せるかかわりや雰囲気づくりが重要だと考えています。
- ・〔10〕子どもは、家族の一員としてお手伝いをしたり協力したりしている（12月73%：7月85%）
最も7月よりポイントが下がったのが、この項目です。『家族の一員として働く意識』を持つことは、やがて社会に出て働く意識につながります。お手伝いをすることで、自主性を育み、自尊心を高めることにもつながります。また、段取りを考えたり、効率を考えて工夫したりする力もつけるといわれていますが、これは学習をする上でも重要な力です。学校と家庭がお手伝いの意義や方法を根気強く伝え、取り組ませていきたいと考えます。

(3) ご意見・ご要望（記述内容）の主なもの

- ・時間外の留守電の時間長く、緊急時に不安になる。
⇒音声ガイダンス機能付電話機は、全市小中学校において導入されております。電話対応時間外で、緊急連絡がある場合の連絡先を今年度の年度初めにお伝えしておりませんでした。ご不便をおかけし申し訳ありません。緊急の場合は、学校公用携帯（080-6302-0220）へ連絡してください。
- ・体力づくり、仲間づくりに力を入れてほしい。
⇒コロナ禍で児童の体力の低下は、全国的な課題となっております。チャレンジ班での遊びや活動に、体力づくりにつながるようなものを取り入れ、体力の向上と仲間との交流の場づくりにつながる活動を工夫していきたいと考えています。
- ・タブレット端末の利用方法（ルール・マナー含）や情報リテラシーについて、保護者も理解し見守っていききたい。
⇒GIGA スクール構想により、今後更にタブレット端末の活用場面が増えていきます。保護者研修の充実や情報提供に努め、家庭と学校が共通認識のもとで進めていきたいと思っております。

アンケートのご協力ありがとうございました。本年度もあとわずかとなりましたが、引き続き学校教育がより充実するよう取り組んでまいります。